

THE RACING PIGEON

6

2020 JUN

Vol. 735

レース鳩



新連載 / *Gran historia* ~グランヒストリア~

偉大なるグランドナショナルレースの歴史を紐解く

20年春季レース特集 / Rgベスト3血統紹介
地区Nベスト30序列



平成31年度 北海道南部連盟 出雲GN総合優勝
(実距離1010.627K / 分速510.271m)

“末広キング” 18AB06723 B ♂

鈴木秀富鳩舎 作翔 (北海道南部・函館連合会)

末広系源鳩“215”&基礎鳩“末広黒号”の超重近親

名匠・川島道英鳩舎が形成した「末広系」代表CH

①末広舞鶴号	BLKCP ♂	GN1100K2年連続優勝
②末広旭王号	B ♂	1539K4日目唯一羽帰完全優勝
③末広旭流号	B ♂	700K総合優勝(旭王号の全兄弟)
④末広旭新号	B ♂	衆議院議長賞1000K優勝・ 全国最高分速杯受賞
⑤末広旭翔号	B ♂	1100K2位、4位、10位、1000K15位
⑥末広28号	B ♂	3年間で1000K4回、1100K2回 (うち1000K1シーズン2回優勝)
⑦末広小桜クィーン号	BLKC ♀	2年間で1100K優勝、1000Kが2回入賞
⑧末広レディ号	DC ♀	桜花賞1100K総合優勝
⑨末広旭一号	B ♂	GW1000K、GN1100K 各連合会唯一羽帰完全優勝
⑩末広金さん号	DC ♀	1100K優勝 *同腹の銀さん号は同レース2位
⑪末広トルレディ号	B ♀	1000K当日唯一羽帰完全優勝
⑫末広トルクィーン号	B ♀	1000K当日唯一羽帰完全優勝
⑬末広919号	BC ♂	300K、500K、1100K各優勝
⑭末広金太郎号	DC ♂	1100K2位、5位
⑮末広トップレディ号	B ♀	1シーズン1000K2回優勝

19年北海道南部出雲GN11羽中総合優勝
(実距離1010.627K/分速510.271m)

「末広キング」
18AB06723 B ♂ 鈴木秀富鳩舎作翔

←14AB07810 B 鈴木秀富作
「末広897号」98AA27897 B 川島道英作
「末広黒号」「末広レディ号」の父&
「215号」直仔掛け×M・ゴードン作「215号」近親
直仔/「末広トルクィーン号」(*⑩)、
「末広186号」(GN1100K1羽帰り優勝)
全兄弟/「末広04号」(GN1100K2位)
直系/「末広サクラ号」(*16年4月号表紙の鳩)
「末広トルレディ号」(*⑩)
06AA12956 B 川島作翔
GW1000K当日唯一羽帰り優勝・総合5位
(「末広04号」×「末広レディ号」(*⑩)×
「末広レディ号」の娘)

←12AB08022 B 鈴木秀富作
上記「末広897号」
「末広777号」08AA20777 BLKC 川島作
「末広黒号」の直系)の直仔×
「末広金さん号」(*⑩/「末広黒号」の直系)×
上記「末広897号」全妹

表紙
の
鳩

日本鳩レース界の原点にして象徴!

北海道産の銘系「末広系」

「末広系」超重近親鳩で19年北海道南部連盟出雲GN総合優勝

鈴木秀富鳩舎(函館)

源鳩「215号」&
基礎鳩「末広黒号」超重近親!

北海道鳩界において長距離翔破の必須アイテムと言えば、「末広系」が挙げられるであろう。地元鳩界のレジェンド!川島道英氏によって形成され、源鳩はモリス・ゴードンの「ロビン号」*6000マイル優勝)の孫及び曾孫計5羽とサウスウェル作の3羽、マッコイ作翔の「オパール3号」。これら9羽でアウト&インブリードを繰り返して、「対1000K用に練り上げられたのが、この「末広系」だ。

北海道産のこの地元の飛び筋を長年愛用する鈴木秀富氏は、15年に桜花賞を制したことで「末広系」の威力を再認識。系統の熟成により、心血を注ぐ。そして19年、レースマンにとって「究極の夢」であるGNを制覇。しかも前回の桜花賞総合優勝鳩「末広サクラ号」が2分の1「末広系」なに対して今回「対1000K」の「末広系」は「純」だ。

父親は「末広レディ号」。「末広トルクィーン号」。「末広トルレディ号」といった1000K超の優勝鳩を輩出したCHメーカーにして基礎鳩「末広黒号」の四重近親。一方の母鳩もまた「末広黒号」の三重近親となっており、結果的にその直仔「末広897号」の直仔掛け、そして前述の源鳩「ロビン号」の曾

孫「215号」に遇れば、軽く「十」を超える近親交配によって作られている。

「末広キング」は、小さい上に「長手」で、誰しもが早く勘違いするようなマスを持ち、それゆえか性格は「おとなしい」。そして18年生まれでありながらR8からジャンプしてのGN総合優勝とあって、「早熟性」を兼ね備えたクラシックステイヤーといったところだ。またGN前は宗家である川島氏のアドバイスを受け、「末広系」の特性からヒナ抱き3日目を持ち寄ったとのこと。「対1000K用」の血統なだけにここにもクラシカルな長距離バードの一面が見られる。その一方で、源鳩「215号」、基礎鳩「末広黒号」の血がこれでもか、というくらい重ねられているため、この「THE・末広系」というべき「末広キング」はブリーダー、いや基礎鳩クラスとしての成功が約束されていると言っている。

さて今回の究極の勝利を得たことでレースマンとして「最高の喜び」に触れた鈴木氏。ところが彼にとって、このGN制覇がゴールではなさそうだ。「最近、全函館連合会の宮崎英機さんが「末広系」のレーサーで1200K唯一羽帰りに成功した上、後日にも帰し、これも「末広系」なんです(※全兄弟が20年八郷・オリエンタルカップ18位)。

私も負けられないな、と思いついて、次は1200Kで勝ちたいです。」

「より遠くへは、日本鳩レース界全体のスローガンであり、またモチベーションであった。これを今なお追求し続ける鈴木秀富というレースマンは、まさしく「日本の競翔家」であり、またそれを体現し続ける純然たる長距離系「末広系」は日本鳩レース界の原点にして、象徴すべき銘系と言って過言ではない。

「末広系」愛好家・鈴木秀富氏(前列左から2人目)のGN制覇に祝福のヨメシト

★山村敏文氏(前列右端)「私は鈴木さんとの縁で川島さんから「トップレディ」をはじめ多数の記録鳩を導入しまして、もはや末広系保存鳩舎です。この筋は長距離に強く、また配合相手によっていろいろなタイプができます。今回の総合優勝鳩は父方祖母、私が一番好きな「末広トルレディ」と瓜二つ、なので、「末広トルレディ」とペアにしよう、鈴木さんと交渉中です(笑)」

★故・寺田忠幸氏(前列左端)「鈴木さんとは同じ森町で飼育している仲なので、GN総合優勝は自分のことのようにうれいしですね。優勝鳩はみんなのめんこい顔をしていて、前回の桜花賞総合優勝と同じタイプ。私も鈴木さんと同じ筋を使っているの頑張ります!」

★伊藤 浩治(後列右)「昨年(*19年)から鳩レースを再開。もう一度1000Kを帰したいと思ひ、「末広系」に興味をもったことが鈴木さんとの縁です。今回GN総合優勝しましたが、絶えず帰還できることを鈴木さんに期待しています」

★北山日出壽氏(後列左)「私自身キャリアが浅いもので、GN総合優勝は夢のまた夢です。それを実現した鈴木さんはホントにすごいと思います。アドバイスをよく聞いて(鈴木さんに)肩を並べられたら最高ですね」



★森町濁川にある鈴木秀富氏の温泉付き別荘にて祝賀会が開かれた。前列左から3人目は鈴木氏夫人、円中は宮崎英機氏。